

2019年度 県立広島大学 履修証明プログラム（公開講座）

「宮島学で学びなおす世界遺産厳島神社と宮島」

履修証明プログラムは、社会人等の学生以外を対象とし、体系的な知識・技術等の修得を目指した一定のまとまりのある教育プログラムで、履修者には学校教育法第105条に基づく履修証明書を交付します。この履修証明プログラムは、二つの公開講座で構成します。

講座1「くずし字で学ぶ宮島—近世資料を読み解く—」

講座2「宮島学特論」

受講を希望される方は、次の「申込方法・申込先」のとおり「履修証明プログラム履修許可願」を提出してください。申請に基づいて受講が認められた方には、履修許可通知をお送りします。すべての講座に出席し、プログラムの修了認定を受けた方に「履修証明書」を交付します。

■対象：文化施設（博物館、図書館、資料館等）に勤務する方、文化行政に従事している方、観光業に従事している方

■募集人数：10名

■受講料：22,400円（テキスト代、フィールドワークの交通費・参加費・参拝費等の諸経費は別途自己負担）

※講座1の受講料(11,200円)は2019年8月に受講案内に従って納入してください。

講座2の受講料(11,200円)は2020年3月に納入してください。

※受講料の振込に関する案内は、別途受講者に送付します。

※講座1と講座2の出席時間が60時間に満たない場合、証明書は発行できません。

また、受講料も返還できませんので、ご了解ください。

■申込方法：①履修証明プログラム履修許可願、②履歴書、③最終出身学校の卒業証明書または卒業見込み証明書、④写真2枚(縦30mm×横24mm、上半身脱帽正面向きで3月以内に撮影したもの)、⑤返信用封筒(定型長3の封筒に82円切手を貼付し、宛名を明記したもの)を、次のところに郵送してください。①と②の様式は本学ホームページの次のURLからダウンロードしてください。

<http://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/rishu-shoumei/program20190608.html>

■申込先：〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目1-71

県立広島大学 地域基盤研究機構「履修証明プログラム」係

■申請期間：2019年7月●日(●)～8月20日(火)(消印有効)

■講座内容に関する問合せ先：県立広島大学 地域基盤研究機構 宮島学センター

TEL082-251-9550(直通)

講座 1

くずし字で学ぶ宮島—近世資料を読み解く—

宮島に関わる近世資料を取り上げて原典で読み解きながら、世界文化遺産厳島神社と宮島について理解を深めます。くずし字の基本を理解し、活字資料に頼らず近世資料を読み解く技術、また、江戸時代に発行された一枚もの（摺り物）や絵入版本などいくつかの資料を組み合わせる活用する力を身につけることを目的とします。

■会 場： 県立広島大学 広島キャンパス（広島市南区宇品東一丁目 1-71）

回	日 時	テーマ・内容	講 師
1	9月7日(土) 13:00~16:20	イントロダクション	人間文化学部 准教授 高松 亮太
		くずし字を読むための基礎知識、基礎資料紹介等	
2	9月14日(土) 13:00~16:20	古川古松軒『西遊雑記』を読む(1)	宮島学センター特任教授 秋山 伸隆
		江戸時代の地理学者古川古松軒の紀行文『西遊雑記』(1783年)から、厳島神社と宮島に関する記述を読み解く。	
3	9月21日(土) 13:00~16:20	古川古松軒『西遊雑記』を読む(2)	秋山 伸隆
		第2回に続いて、江戸時代の地理学者古川古松軒の紀行文『西遊雑記』(1783年)から、厳島神社と宮島に関する記述を読み解く。	
4	10月5日(土) 13:00~16:20	「厳島御島廻之図記」を読む	秋山 伸隆
		「厳島御島廻之図記」から「御鳥喰式」の様子を描いた図と説明文などを読み、厳島神社の重要な神事である「御島廻」について理解を深める。	
5	10月19日(土) 13:00~16:20	『厳島名所図会』を読む(1)	人間文化学部 教授 西本 寮子
		『厳島名所図会』から大元や紅葉谷、石風呂などの名所を描く場面を取り上げて、現在の状況や関連する文芸資料に触れ、解説を加えながら読み解く。	
6	10月26日(土) 13:00~16:20	『厳島名所図会』を読む(2)	西本 寮子
		『厳島名所図会』の序文及びびを読み、広島地方の出版事情や文化状況について理解を深める。	
7	11月16日(土) 13:00~16:20	『厳島名所図会』を読む(3)	西本 寮子
		『厳島名所図会』に描かれた名所を取り上げて読み解くとともに、享和元(1801)年前後に発行された摺り物を読みながら大鳥居の再建について理解を深める。	
8	11月30日(土) 13:00~16:20	『宮島参詣膝栗毛』を読む(1)	高松 亮太
		十返舎一九が『東海道中膝栗毛』の大ヒットを受けて著した続編のひとつ、『宮島参詣膝栗毛』を読み解きながら、弥次喜多珍道中の魅力と描かれた江戸時代の厳島神社について理解を深める。	
9	12月7日(土) 13:00~16:20	『宮島参詣膝栗毛』を読む(2)	高松 亮太
		十返舎一九が『東海道中膝栗毛』の大ヒットを受けて著した続編のひとつ、『宮島参詣膝栗毛』を読み解きながら、弥次喜多珍道中の魅力と描かれた江戸時代の宮島について理解を深める。	
10	12月14日(土) 13:00~17:20	総合演習、全体討議	秋山伸隆、西本寮子、 高松亮太

講座 2

宮島学特論

この講座では、宮島の歴史や文化について、厳島神社の神事「御島廻」や「管絃祭」に参加するなど現地フィールドワークを交えながら実践的に学ぶことで、世界文化遺産厳島神社と宮島について理解を深めます。

■会 場：県立広島大学 広島キャンパス（広島市南区宇品東一丁目 1-71），廿日市市宮島町

回	日 時	テーマ		講 師
1	4月11日(土) 10:30~16:20	文化財の保存と継承	文化遺産の継承とその意義	人間文化学部 教授 鈴木 康之
			平清盛の時代の社会と経済	
			御島廻の今昔	宮島学センター特命講師 大知 徳子
2	5月15日(金) 8:00~14:00	フィールドワーク「御島廻式」		講座担当教員
3	5月23日(土) 10:30~16:20	平安時代後期の宮島	宮島にもたらされた陶磁器とその背景	鈴木 康之
			中世瀬戸内海の水運と物流	
			儀礼が果たす文化的役割	
4	6月20日(土) 13:00~16:20	戦国～江戸時代の宮島	棚守房頭と管絃祭	大知 徳子
			厳島神社と石見銀山	宮島学センター特任教授 秋山 伸隆
			地域資料からみる宮島	人間文化学部 教授 西本 寮子
5	7月18日(土) 13:00~16:20	近世・近代の宮島	厳島八景の成立と京の人々	人間文化学部 教授 柳川 順子
			江戸時代の宮島の文芸	人間文化学部 准教授 高松 亮太
			宮島における戦争と平和	秋山 伸隆
6	8月6日(木) 13:00~16:20	フィールドワーク「管絃祭」		講座担当教員
7	8月29日(土) 13:00~16:20	受講者によるプレゼン発表		講座担当教員

※講座2の受講案内と受講料振込案内は、2020年3月頃に送付する予定です。